挑 vol.12

このコーナーは、小田川市長が掲げる今年の漢字「挑」にちなんだまちづくりを紹介するコラムです。

市内に待望の産婦人科 医院新規開設が決定

市ではこれまで「妊娠・出産・子育て期までの切れ目のない支援」を大きな目標として、「産科医療施設開設補助金」を創設し、市内への産科医療施設の開設を目的に誘致活動を推し進めてきました。

▶8月21日に行った「産科医療施設開設補助金」の交付式で、交付決定通知書を遠藤勝英理事長㊧に手渡す小田川浩市長㊨

県内の新規開設は10年ぶり

このたび、この補助金制度を活用し、筑西市内で「遠藤産婦人科医院」「すわクリニック」、「大空こどもクリニック」を運営する「医療法人修英会（遠藤勝英理事長）」が、市内富士見ヶ丘地区へ産科婦人科医院の開設を決定しました。産科婦人科医院の開設は当市で初めてであり、県内でも新規開設は10年ぶりとなっています。

小田川市長は「市内に産婦人科ができるということは、これから子どもを持とうかという夫婦や、第2子・第3子の出産を望む夫婦、これからつくばみらい市に住もうと思っている方にとって非常に魅力的で、大きな安心感につながると思う。この地で生まれて育っていく子どもが、このまちに愛着を持って住み続けていってもらえたら」と話し、期待を寄せました。

遠藤理事長は「小田川市長から、ぜひ、つくばみらい市で産婦人科を、という熱心なお誘いをいただき、市の補助金制度の後押しもあって、新規開設を決めた。これまで筑西市で長く産婦人科医院を運営してきた。その経験を生かし、安全で安心なお産をつくばみらい市でも発展させていければ。合わせて乳腺外科の併設も検討している。市民の皆さんにとって身近に産科医療施設があることは大きなメリットになる。この地域の皆さんに信頼できる医療を届けたい」と抱負を語りました。

この産婦人科医院は、2022年春の開業を目指しています。

筑西市にある遠藤産婦人科医院
（写真は遠藤産婦人科医院 HP から）

コロナ支援

疫病退散 アマビエクーポンを配布します

問 谷和原庁舎産業経済課 ☎58 - 2111（内線3102）

1500円分のクーポンを全世帯に配布

市では、新型コロナウイルスの感染拡大の防止を図るため、「いばらきアマビエちゃん」の登録をし、感染防止対策に取り組んでいる市内の店舗で使えるアマビエクーポンを全世帯に配布します。

1枚300円の5枚綴りになっているので、切り取り線に沿って切り離してお使いください。クーポンをご利用になる時に、お店に提示してある感染防止対策宣誓書に記載の「QRコード」を読みとり、「いばらきアマビエちゃん」の登録もあわせてお願いします。

今月号と一緒にクーポンと取扱店のチラシを配布していますので、ご確認ください。

■クーポン利用取扱店募集中

クーポン券の利用ができる取扱店を募集します。

取扱店の参加資格は、売り場面積1000㎡以下の小規模店舗で「いばらきアマビエちゃん」の登録が必要となり、市内に店舗・事業所を有する事業者のみとなります。

なお、取扱店に参加した事業者には、感染防止対策にかかわる費用として、10万円を助成します。

詳しくは、市および市商工会のホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

産業経済課または市商工会 ☎58 - 1700

◎市商工会ホームページ https://www.miraishoko.com/

▶配布するアマビエクーポン